

～富岡製糸場 世界遺産登録記念～

この10年間に登録された 日本の世界遺産について

2014年6月調査結果



日本リサーチセンター

Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1

TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470

<http://www.nrc.co.jp/>

- ◆富岡製糸場が、2014年6月21日の第38回世界遺産委員会(ドーハ)で、正式に世界遺産登録された。
本調査では、富岡製糸場がほぼ登録見込みであった6/4～6/16に、全国の15～79歳を対象に、訪問留置で「この10年間に登録(登録見込含む)された日本の世界遺産」について聴取した。

【この10年間に登録された日本の世界遺産について】

①世界遺産であることがどの程度知られているか？

最も知られているのは「富士山」(7割)、次に「富岡製糸場」(6割半ば)。
どの世界遺産についても総じて、男女ともに30代以下は認知率が低く、60代で高い。
特に男性60代の認知率は5～8割と高い。

②この10年間でどの程度訪問されているか？

最も訪問経験者が多いのは「富士山」と「平泉」だが、いずれも1割程度。
「富岡製糸場」は2%にすぎない。
男女ともに30代以下では「富士山」が最も多いが、60代以上では「平泉」が最も多い。

③今後訪問してみたい場所はどこか？

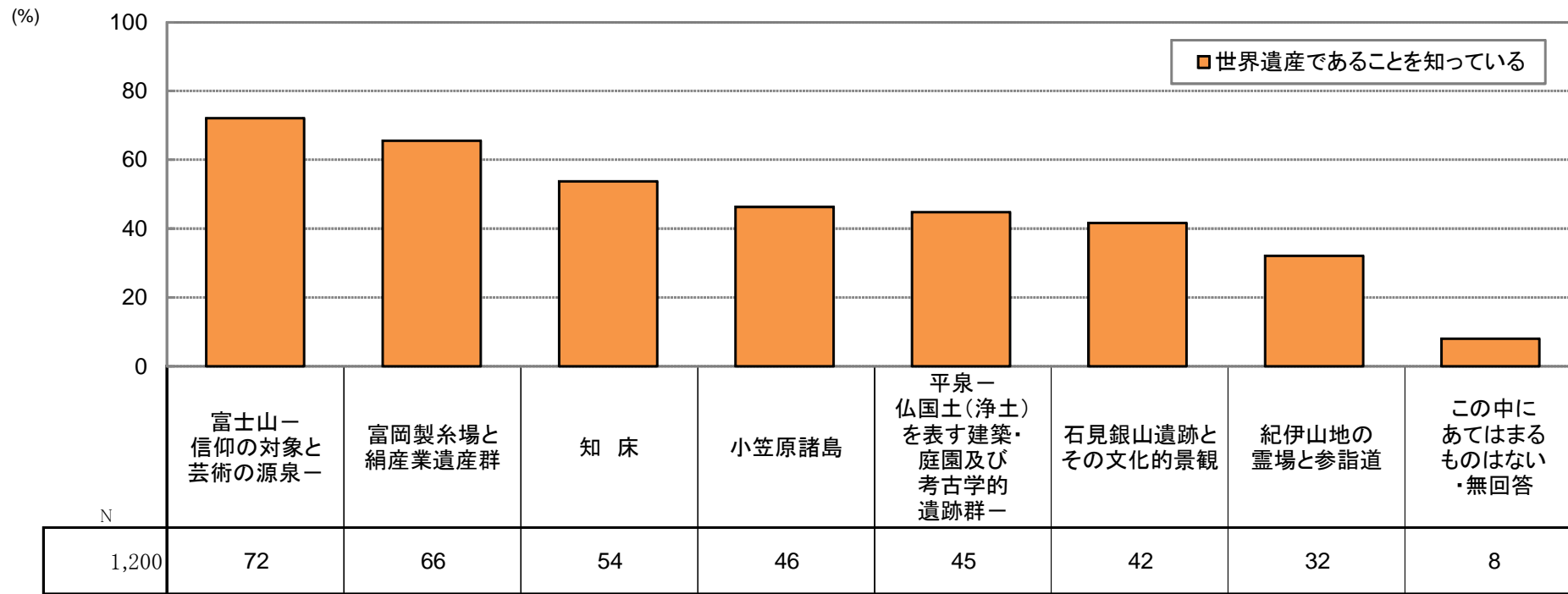
人気が高いのは「知床」と「小笠原諸島」で、訪問意向率はいずれも約3割。
「富岡製糸場」は、全体では2割弱だが、60代女性では2割半ばと高い傾向がみられる。

この10年間に登録された日本の世界遺産の中で、最も認知されているのは「富士山」(7割)、次に「富岡製糸場」(6割半ば)。(※本調査の実施期間は6/4～6/16であり、富岡製糸場は正式登録直前のタイミングであった。)

■全体では、世界遺産であることを知っているのは「富士山」が72%でトップ、次に「富岡製糸場」が66%、「知床」が54%の順であった。

問. 下記にあげる「日本の世界遺産」は、いずれもこの10年間に登録(登録見込含む)されたものです。

(a) 世界遺産であることを、あなたをご存知の場所をすべてお知らせください。(○はいくつでも)



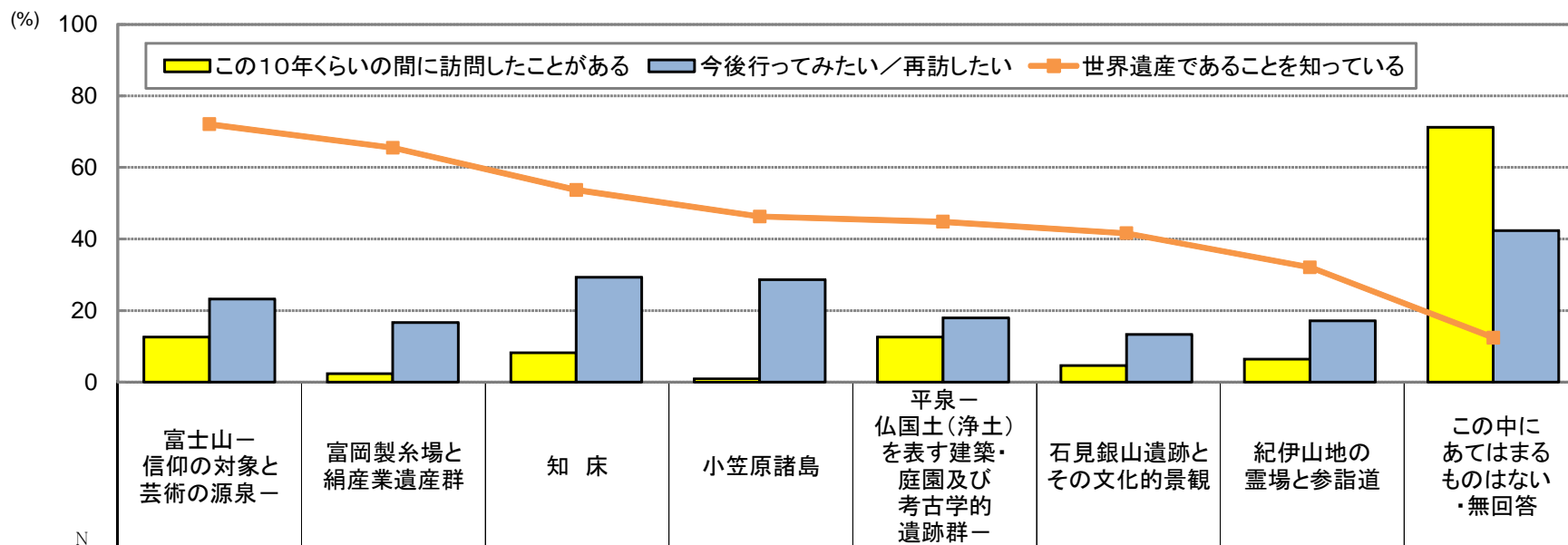
(%)

この10年間の訪問経験者が多いのは「富士山」と「平泉」だが、いずれも1割程度となっている。「富岡製糸場」は2%にすぎない。今後訪問/再訪したいという意向は、「知床」と「小笠原諸島」が約3割と多い。

- この10年くらいの間に訪問したことがあるのは、「平泉」と「富士山」が13%で最も多い。
- 今後行ってみたい/再訪したいのは、「知床」と「小笠原諸島」の自然遺産が29%と最も多い。次いで「富士山」が23%となっている。
- 「富岡製糸場」は、認知率は66%と高いものの、訪問意向率は17%とそれほど高くない。

問. 下記にあげる「日本の世界遺産」は、いずれもこの10年間に登録(登録見込含む)されたものです。

- 世界遺産であることを、あなたをご存知の場所をすべてお知らせください。(○はいくつでも)
- この10年くらいの間に、あなたが訪問したことがある場所をすべてお知らせください。(○はいくつでも)
- あなたが今後行ってみたい場所を、再訪したい場所も含め、すべてお知らせください。(○はいくつでも)



	N	富士山—信仰の対象と芸術の源泉—	富岡製糸場と絹産業遺産群	知床	小笠原諸島	平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—	石見銀山遺跡とその文化的景観	紀伊山地の霊場と参詣道	この中であてはまるものはない・無回答
世界遺産であることを知っている	1,200	72	66	54	46	45	42	32	12
この10年くらいの間に訪問したことがある	1,200	13	2	8	1	13	5	6	71
今後行ってみたい/再訪したい	1,200	23	17	29	29	18	13	17	42

認知率はいずれの世界遺産も男女ともに30代以下で低く、60代で高い傾向がみられる。

■性・年代別で見ると、男女ともに30代以下は総じて認知率が低く、60代は高い傾向がある。

■特に男性60代は、どの世界遺産も5割以上が認知していることがわかる。

問. 下記にあげる「日本の世界遺産」は、いずれもこの10年間に登録(登録見込含む)されたものです。

(a) 世界遺産であることを、あなたをご存知の場所をすべてお知らせください。(○はいくつでも)

注)「全体」との比較で

■ :5ポイント以上高い

■ :5ポイント以上低い

		N	富士山— 信仰の対象と 芸術の源泉—	富岡製糸場と 絹産業 遺産群	知 床	小笠原諸島	平泉— 仏国土(浄土) を表す建築・ 庭園及び 考古学的 遺跡群—	石見銀山 遺跡とその 文化的景観	紀伊山地の 霊場と参詣道	この中に あてはまる ものはない ・無回答
全 体		1,200	72	66	54	46	45	42	32	12
男 性	15~19才	36	72	47	44	53	31	39	28	17
	20~29才	76	71	46	37	33	29	26	17	21
	30~39才	101	64	54	40	39	38	31	21	22
	40~49才	105	72	74	52	50	43	38	33	10
	50~59才	91	73	75	64	50	48	42	46	10
	60~69才	106	82	76	67	60	76	66	50	4
	70~79才	79	75	63	62	53	61	61	43	10
女 性	15~19才	36	61	44	53	58	25	19	17	17
	20~29才	75	69	56	55	47	29	24	20	13
	30~39才	97	61	58	40	32	26	29	27	19
	40~49才	105	74	70	50	46	43	38	29	10
	50~59才	90	78	79	56	43	46	41	31	8
	60~69才	116	75	72	67	53	59	58	41	9
	70~79才	87	74	70	55	39	46	47	29	14

(%)

男女ともに、30代以下はこの10年間に訪問した世界遺産が少ないが、中では「富士山」が最も多い。
60代以上は訪問した世界遺産も多く、とりわけ「平泉」が最も多い。

- 性・年代別で見ると、男女ともに30代以下はこの10年間に訪問した世界遺産が少なく、60代以上は多い。
- 30代以下は「富士山」が最も多いのに対し、60代以上は「平泉」が最も多い。

問. 下記にあげる「日本の世界遺産」は、いずれもこの10年間に登録(登録見込含む)されたものです。

(b) この10年くらいの間に、あなたが訪問したことがある場所をすべてお知らせください。(○はいくつでも)

注)「全体」との比較で

- :5ポイント以上高い
- :5ポイント以上低い

○ は、各属性で最も多いもの

		N	富士山－ 信仰の対象と 芸術の源泉－	富岡製糸場と 絹産業 遺産群	知床	小笠原諸島	平泉－ 仏国土(浄土) を表す建築・ 庭園及び 考古学的 遺跡群－	石見銀山 遺跡とその 文化的景観	紀伊山地の 霊場と参詣道	この中に あてはまる ものはない ・無回答
全体		1,200	13	2	8	1	13	5	6	71
男性	15～19才	36	11	6	8	0	3	3	0	81
	20～29才	76	7	1	1	0	4	0	1	87
	30～39才	101	16	2	3	2	7	3	4	80
	40～49才	105	6	4	5	2	11	7	2	78
	50～59才	91	14	3	8	0	11	3	10	73
	60～69才	106	17	5	10	1	26	9	13	59
	70～79才	79	20	4	19	4	22	5	13	52
女性	15～19才	36	8	0	0	0	3	0	0	89
	20～29才	75	7	0	7	0	5	3	3	79
	30～39才	97	8	2	4	1	5	2	4	79
	40～49才	105	17	1	5	0	11	4	8	66
	50～59才	90	11	2	7	0	10	3	2	71
	60～69才	116	17	3	17	1	23	8	12	59
	70～79才	87	10	0	15	1	18	9	8	68

(%)

男性20代では「富士山」が3割半ばと人気があることがわかる。
 女性は20代～40代では「小笠原諸島」、50代～70代では「知床」がトップ。富岡製糸場は60代女性に最も人気がある。
 ■男性では20代以下で「富士山」が最も多く、30代以上で「知床」と「小笠原諸島」がほぼ拮抗している。
 ■女性では40代以下で「小笠原諸島」、50代～70代で「知床」がトップとなっている。
 ■「富岡製糸場」については、訪問意向率が最も高いのは60代女性で、24%となっている。

問. 下記にあげる「日本の世界遺産」は、いずれもこの10年間に登録(登録見込含む)されたものです。

(c) あなたが今後行ってみたい場所を、再訪したい場所も含め、すべてお知らせください。(○はいくつでも)

注)「全体」との比較で
 :5ポイント以上高い
 :5ポイント以上低い

○は、各属性で最も多いもの

		N	富士山— 信仰の対象と 芸術の源泉—	富岡製糸場と 絹産業 遺産群	知 床	小笠原諸島	平泉— 仏国土(浄土) を表す建築・ 庭園及び 考古学的 遺跡群—	石見銀山 遺跡とその 文化的景観	紀伊山地の 霊場と参詣道	この中に あてはまる ものはない ・無回答
全体		1,200	23	17	29	29	18	13	17	42
男性	15～19才	36	39	19	25	31	25	22	25	50
	20～29才	76	36	17	26	30	24	16	21	44
	30～39才	101	25	15	29	29	17	15	18	51
	40～49才	105	31	17	39	39	17	10	14	32
	50～59才	91	18	10	24	20	11	11	17	48
	60～69才	106	18	14	31	31	18	11	20	41
	70～79才	79	13	17	23	20	13	15	17	43
女性	15～19才	36	25	17	22	33	19	14	17	50
	20～29才	75	21	16	35	41	24	24	21	44
	30～39才	97	30	13	28	33	17	19	19	44
	40～49才	105	28	15	33	39	22	10	17	34
	50～59才	90	20	19	29	22	20	8	16	37
	60～69才	116	19	24	33	24	22	17	16	34
	70～79才	87	14	20	22	10	8	3	8	56

(%)

調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人

有効回収数

- 1200人(サンプル) ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付実施

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

調査期間

- 6月調査

2014/6/4 ~ 2014/6/16

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先: 日本リサーチセンター広報室 メール: information@nrc.co.jp

掲載では必ず当社クレジットを明記していただきますようお願い致します。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。